

入庁してからの振り返りと現場紹介

直方支部 直方県土整備事務所 都市施設整備課 山口翔

【1】はじめに

今回は、私が所属している直方県土整備事務所や、私の担当業務に関する紹介、そして入庁してから約1年が経つ中での振り返りについて述べていこうと思います。

【2】直方県土整備事務所について

直方県土整備事務所は、筑豊地域の中でも福岡と北九州の両都市圏の中間に位置しており、遠賀川水系の流域に広がる豊かな自然に恵まれた直方市、宮若市、鞍手郡鞍手町、鞍手郡小竹町を所管区域としています。

(参考：県庁ホームページより)



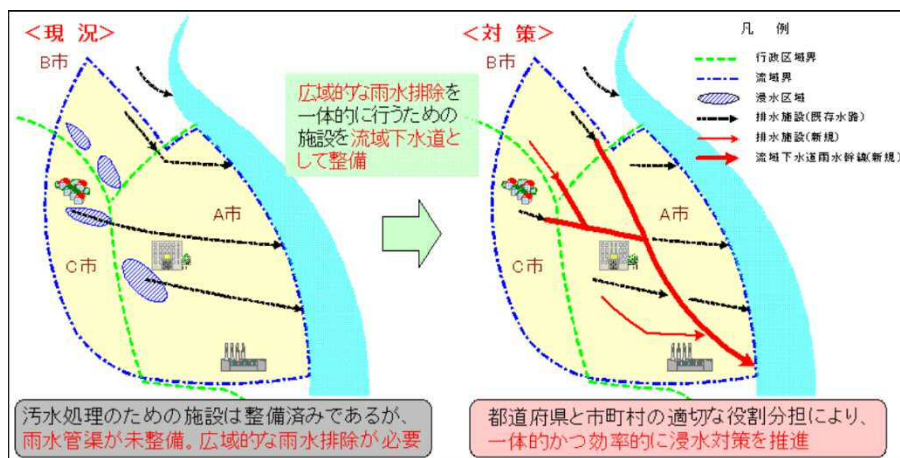
【3】下水道の種類について

下水道には公共下水道と流域下水道があります。

まず公共下水道とは、終末処理場（浄化センター）を有するもの、または流域下水道に接続するもの等で、福岡県では各市町村が事業を行っています。

一方で流域下水道とは、2つ以上の市町村の区域における下水道を排除するもの、かつ終末処理場を有するもの等で、県が事業を行っています。

つまり私たちの業務では、各市町村が各家庭からつないできた下水管を接続し、浄化センターまで汚水を流すための幹線となる下水管をつくることになります。



(参考：国土交通省ホームページより)

【4】担当業務について

私が所属している都市施設整備課では、事業計画区域が、1級河川遠賀川中流に位置しており、下水道整備の効率的、経済的観点から直方市公共下水道事業を骨格として近隣都市の宮若市、小竹町を加えて発足した、遠賀川中流流域事業を行っております。

この遠賀川中流流域下水道は、若宮宮田直方幹線、小竹直方幹線、小竹宮田幹線、直方幹線、宮田幹線の5幹線からなり、平成11年度に都市計画決定および事業認可の取得を行い、事業着書しています。

この中で、私は小竹直方幹線の下水管築造工事を担当しており、現場を管理する中で下水の施工方法や施工基準などの基礎的知識を日々勉強しています。

このほかにも、地震による液状化現象でマンホールが浮上しないようにするための人孔(マンホール)改築工事や、過去につくった下水管の維持管理業務などを担当しています。

【5】おわりに

新採として初めて担当する業務がたまたま下水道に関する仕事でしたが、こうやって携わることができてよかったと感じています。これまで日常生活において、特に気にすることはなかったですが、当たり前のように下水道が整備されていることに対して、とてもありがたく感じました。

今後も多くの知識を身に着け、安心して現場を任されるような職員になれるよう努力していこうと思います。



立坑完成



薬液注入工



推進用鏡切り



推進機操作状況



推進工



組立マンホール工

(参考：下水管築造工事完成資料より)